

山柔協第26-307号  
令和8(2026)年4月22日

各市柔道協会等団体の長 様  
各チームの長 様 (中学生所属チーム)

一般社団法人山口県柔道協会  
会 長 正 司 直 樹  
(会長印を省略しています。)

## 全日本中学生柔道形競技大会の開催について

当協会の事業については、平素から格別の御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。  
さて、動画送信による標記大会について(公財)全日本柔道連盟から通知がありましたので、参加希望のチームは8月20日までに添付の参加申込書を県柔協事務局にメール送信してください。

また、投の形、固の形、柔の形それぞれ1組が出場となりますが、複数の場合は抽選等により出場組を決定し、通知します。

## 記

### 1 スケジュール

**2026年8月20日(木) 山口県柔道協会(県柔協)申込締切**

2026年8月28日(金) 県柔協が大会主管事務局の抽選による出場組決定を希望する場合の申込締切

※県柔協が抽選を申込む場合は「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」を提出すること

※県柔協が選考する場合は提出不要

2026年9月4日(金) 大会主管事務局より全柔連の出場組抽選結果を県柔協に通知

2026年10月15日(木) 県柔協のエントリー締め切り

**2026年10月16日(金) 大会主管事務局より県柔協に動画アップロードのリンク先を通知 県柔協が申込チームにリンク先を通知**

**2026年10月17日(土) ~31日(土) 参加チームの動画アップロード期間**

2026年11月1日(日) 大会主管事務局が各形の審査順番の抽選

2026年11月3日(火) 大会主管事務局より県柔協にアップロード受信確認の連絡期限

※県柔協は大会主管事務局より連絡がない場合、必ず問い合わせをすること。

2026年11月6日(金) 県柔協の参加申込料支払い期日

2026年11月21日(土) 大会主管事務局が審査(映像審査)

※全柔連が2026年11月末を目途に大会結果を公表する。

### 2 申込先等

- (1) 申込先県柔道協会事務局      Email    yjk@c-able.ne.jp
- (2) 申込書      添付の次のファイル  
「県柔協 中学形 20260418 山口県大会出場申込書.xlsx」
- (3) 申込期限    8月20日(木)

3 照会先（事務局）

（一社）山口県柔道協会

事務局長      宮崎 俊彦

電話：FAX      083-924-9510

e-mail : yjk@c-able.ne.jp

〒753-0871      山口市大字朝田 581—2

## 1. 趣旨

講道館柔道において「形」と「乱取」は、「文法」と「作文」に例えられるように、修行の両輪として一体をなすものである。「形」と「乱取」を修行することによって、勝負の理を体得し、修行の成果を実感しながら、柔道の奥義へと進むことができる。とりわけ「形」は、柔道技術の基本形態における攻防の原理を学ぶ、心身研磨の道である。

特に中学生世代においては、左右の形を正しく修得することが、動きに偏りのない柔道の基本動作の習得につながり、将来より高いレベルで乱取に取り組む際にも極めて有効な指導方法となる。

そのため本大会では、この年代の特性を踏まえ、取・受を固定しない形式を採用し、「形」を通じて安全で教育的な柔道の普及・振興を目的として、競技大会を開催する。

## 2. 主催

公益財団法人 全日本柔道連盟

## 3. 後援

公益財団法人 講道館

## 4. 協力

一般社団法人 全日本学生柔道連盟

## 5. 種目

- ①投の形（手技、腰技、足技のみ）
- ②固の形（抑込技のみ）
- ③柔の形（第一教のみ）

## 6. 参加申込み方法

(1) 都道府県柔道連盟(協会)は、複数の出場希望組があった場合、出場組選考に関して以下のいずれかとする。

- ① 都道府県柔道連盟(協会)において、出場組を選出する。
- ② 大会主管事務局における抽選により、出場組を決定する。

都道府県柔道連盟(協会)は、**8月28日(金)まで**に出場希望組の情報を「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」に記載のうえ、大会主管事務局に申し込みを行うこと。なお、①(都道府県柔道連盟・協会で選考する場合)については、「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」の提出は不要とする。

大会主管事務局は出場組の抽選結果を、**9月4日(金)まで**に都道府県柔道連盟(協会)へ伝える。

(2) (1)における①、②にいずれにおいても、出場者に関する情報を以下申し込みフォームを通じて、**10月15日(木)まで**に入力すること。不参加の場合でも、その旨を回答すること。

申込フォーム：<https://form.run/@promotion-Oz7zxrr1aKw9CsiWhndf>

- (3) 申込み後の取り消しがあった場合、都道府県柔道連盟(協会)は大会主管事務所にメールにて通知を行う。なお、動画アップロード期限である10月31日(土)までに正当な理由なく動画がアップロードされていない場合については失格とする。

## 7. スケジュール

2026年 8月28日(金)	大会主管事務局の抽選による出場組決定を希望する場合の申込締切 ※申込は「大会出場希望組リスト(全柔連抽選用)」を提出すること ※都道府県柔道連盟・協会で選考する場合は提出不要
2026年 9月4日(金)	大会主管事務局より全柔連の出場組抽選結果を通知
2026年10月15日(木)	エントリー締め切り
2026年10月16日(金)	大会主管事務局よりアップロードのリンク先を通知
2026年10月17日(土)～31日(土)	動画アップロード期間
2026年11月1日(日)	各形の審査順番の抽選
2026年11月3日(火)	大会主管事務局よりアップロード受信確認の連絡期限 ※大会主管事務局より連絡がない場合、必ず問い合わせをすること。
2026年11月6日(金)	参加申込料支払い期日
2026年11月21日(土)	審査(映像審査)

※2026年11月末を目途に大会結果を公表する。

## 8. 出場資格

- (1) 2026年度の全日本柔道連盟登録を行っている中学生とする。
- (2) (選手の)所属団体が全日本柔道連盟登録をしている都道府県からの出場とする。
- (3) 所属先について、特に制限は設けない(中学校所属と柔道クラブ所属のペアでも出場可)。
- (4) 各都道府県から投の形、固の形、柔の形それぞれ1組の出場とし、一人が複数種目へ出場することは認めない。
- (5) 参加にあたり、段位の取得は問わない(白帯でも参加可)。
- (6) 男女組での参加も認める。

## 9. 競技方法

- (1) 「講道館柔道形競技規定」および「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」(別紙参照)を追加して実施する。
- (2) 本競技大会は、あらかじめ撮影された形動画を審査する「録画審査方式」にて実施する。
- (3) 本大会は、一組の各選手が取と受の両方をそれぞれ行うこととする。  
「取(A)・受(B)」 「取(B)・受(A)」の2種類の演技を撮影し、両方の映像をアップロードする。  
※参加各組につき、2つの動画(同一ペアによる取受を交代したもの)が必要となる。
- (4) 都道府県柔道連盟(協会)は、どちらの映像を予選・決勝で審査するかを選択し、アップロードのファイル名に記載をする。なお、予選では全ての「予選映像」を審査し予選順位を決定するが、決勝については決勝進出組(8組)の「決勝映像」のみを審査する。(予選9位以下については、「決勝映像」は審査しない)

(5) 映像アップロード（ファイル名・提出期限 等）

ア. 映像は、大会主管事務局がエントリー後に送付するリンク先へ期日までにアップロードすること。

その際、動画ファイル名は、「形の種目\_都道府県識別番号\_予選・決勝の識別\_都道府県名」とする。

例) 投の形、青森県の場合：「投 02\_予選\_青森」と「投 02\_決勝\_青森」の2つ

イ. 映像のアップロード期日は、2026年10月17日(土)～10月31日(土)23:59までとする。

ウ. ファイル名を変更する際、ファイルの拡張子 (.mov .MOV .mp4 など) は削除すること。

エ. 「取受の識別」は、申込フォームの選手情報と必ず合わせること。

オ. 「都道府県識別番号」は以下を参照すること。

**都道府県識別番号 一覧**

都道府県名	都道府県識別番号	都道府県名	都道府県識別番号	都道府県名	都道府県識別番号	都道府県名	都道府県識別番号
北海道	01	神奈川県	13	滋賀県	25	徳島県	37
青森県	02	山梨県	14	京都府	26	愛媛県	38
岩手県	03	東京都	15	大阪府	27	高知県	39
宮城県	04	新潟県	16	兵庫県	28	福岡県	40
秋田県	05	長野県	17	奈良県	29	佐賀県	41
山形県	06	富山県	18	和歌山県	30	長崎県	42
福島県	07	石川県	19	鳥取県	31	熊本県	43
茨城県	08	福井県	20	島根県	32	大分県	44
栃木県	09	静岡県	21	岡山県	33	宮崎県	45
群馬県	10	愛知県	22	広島県	34	鹿児島県	46
埼玉県	11	岐阜県	23	山口県	35	沖縄県	47
千葉県	12	三重県	24	香川県	36		

カ. 1つの映像は5GBを超えない容量とする。

キ. 大会主管事務局では、映像のアップロードを確認でき次第、11月3日(火)までにアップロード受信の連絡をする。アップロード後に上記日時までに大会主管事務局からアップロード受信の連絡がない場合は、大会主管事務局まで連絡すること。

連絡先：全日本柔道連盟 国際課 担当：蒲原・佐々木

メールアドレス：kata@judo.or.jp 電話番号：03-3818-5009

10. 参加申込み料

1組2,000円を、都道府県柔道連盟(連合会、協会)が取りまとめ、11月6日(金)までに下記口座へ振り込むこと。

振込先：三菱 UFJ 銀行 春日町支店 普通 0330969 公益財団法人全日本柔道連盟

11. 服装

柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。

12. ゼッケン

下記の要領で背部にゼッケンを縫い付けること。

- (1) ゼッケンのサイズは縦 25～30 cm、横 30～35 cmとし、後襟から 5～10 cm下部に縫い付ける。
- (2) ゼッケンの上部 2/3 に苗字、下部 1/3 に団体名を表記する。
- (3) 書体は太いゴシック体、または明朝体で男子は黒色、女子は赤色とする。

### 13. 審査手順・順位決定方法

- (1) 11月1日（日）に主催者がコンピューターを用いて、各形の順番について抽選を行う。
- (2) 審査は11月21日（土）に行う。
- (3) 予選は、都道府県柔道連盟（連合会、協会）から申請のあった「予選映像」を審査、採点する。
- (4) 予選上位8組が決勝に進み、決勝では8組の映像審査（採点）のみを行う。  
※決勝では、「決勝映像」を審査、採点する。  
※予選9位以下の組については、「決勝映像」の採点は行わない。
- (5) 決勝に進出した8組の順位は、予選と決勝の合計得点によって決定する。合計点が同点となった場合、「講道館形競技規定に関する申し合わせ事項」にて順位を決定する

### 14. 表彰・結果の公表

- (1) 大会結果については、全日本柔道連盟ホームページに掲載する。
- (2) 各種目の上位8組（1位～8位）までを表彰する。
- (3) 入賞者への賞典発送は各都道府県柔道連盟(協会)事務局へ送ることとする。

### 16. 審査員

審査員は、全日本柔道連盟公認形審査員規程により、全日本柔道連盟 国際委員会 形部会が選考する。

### 17. 審査員会議

審査員会議を審査日当日に審査会場にて行う。

### 18. その他

- (1) 演技撮影時における怪我等に関して主催者は一切の責任を負わない。
- (2) 個人情報、肖像権の取り扱いについて
  - ・参加申込フォームに入力された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページに掲載される場合がある。
  - ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
  - ・提出された映像は、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
  - ・提出された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
  - ・参加申込フォームへの回答により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

以上

## 公益財団法人全日本柔道連盟 講道館柔道形競技規定

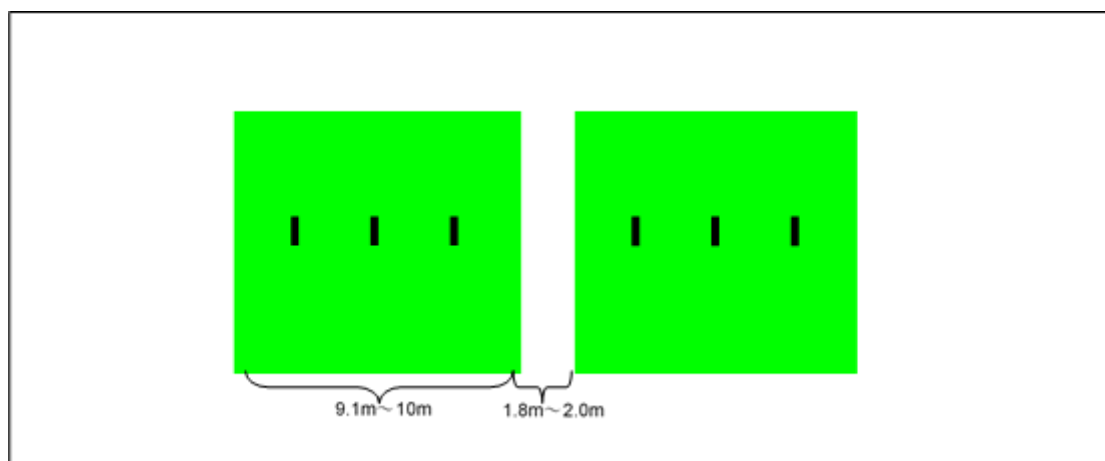
### (形の種類)

第1条 形の種類は、講道館の制定する投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術、五の形、及び古式の形とし、講道館の発行する最新版の教本、及びDVD映像で規定する動作を基準とする。

### (試合場)

第2条 試合場は原則として最小限 14m×14m、最大限 16m×16mとし、この中央に最小 9.1m（五間）×9.1m、最大 10m×10mの場内を設け、畳又はこれに類するものを敷き詰める。

2. 取と受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すために、下図のとおり試合場の中央 5.5m～6m 離れた場所に、幅約 10cm、長さ約 50cm の色のついた粘着テープを付ける。
3. 試合場の中央にも下図のとおり同色の粘着テープを配置する。
4. 試合場の床は弾力性がなければならず、隣接して試合場を設置する場合、下図のとおり 1.8m～2mの共通する安全地帯を設ける。



### (得点表示)

第3条 演技者（組）の得点は、会場の適切な場所に速やかに表示する。

### (服装)

第4条 柔道衣および帯は、全日本柔道連盟柔道衣規格に合格しているものでなくてはならない。ただし、紅帯、紅白帯はその限りでない。

(衛生及び危害防止)

第5条 演技者(組)は清潔な柔道衣を着用し、爪を短く切ること。また金属その他相手に危険を及ぼすようなものは身に付けてはならない。長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。

(演技順序)

第6条 演技の順序は抽選で決定する。

(審査及び審査員)

第7条 審査は、一種目の形を、その種目の全日本柔道連盟公認形審査員5名で行う。

2. 審査員は、評価した点数を公式採点票に明記する。
3. 審査する位置は、原則として正面側とし、審査員は1mの間隔をあけて審査員席に着く。但し、場合によっては審査する位置を変えることができる。
4. 審査員は、各組が試合場に入る前に、決められた席に着いていなければならない。
5. 審査員が着席する位置は、その種目が終了するまで変えないものとする。
6. 主任の審査員は、立って両掌を上にして両腕を前方へ伸ばし、演技者(組)を試合場へ進むよう指示する。
7. 審査員の服装は、大会の規定によるものとし、公認のネクタイ及びエンブレムをつけるものとする。
8. 本連盟教育普及・MIND委員会形部会は、審査員の管理、監督等を行う。

(審査方法)

第8条 演技者(組)による演技(礼法・服装、技の内容、全体の流れ)を審査する。

2. 10点満点で評価する。
3. 1回のみの演技を審査する。
4. 各における5人の審査員の評点のうち、最高点と最低点を除いた3人の審査員の評点の合計(小計)をその施技の得点とする。最高点又は最低点が複数(例;7, 7, 6, 6, 6)あった場合、除く点はそれぞれ1つとする(例;7を1つ、6を1つ除く。この場合は、 $7 + 6 + 6 = 19$ 点はその組の得点となる)
5. 順位は以下の順に従って決める。
  - (1)各評価項目の得点を合計し(=合計点という)その高い方を上位とする。
  - (2)合計点が同点の場合

- 1)各評価項目の評点(=最高点と最低点を除いた評点)を見て、より低い評点のある方を下位とする。
  - 2)同内容の場合、1)のより低い評点の個数の多い方を下位とする。
  - 3)同内容の場合、各評価項目の評点(=最高点と最低点を除いた評点)を見て、より高い得点のある方を上位とする。
  - 4)同内容の場合、3)のより高い評点の個数の多い方を上位とする。
  - 5)それでも同内容の場合、同位とする。
6. 得点は合計点と100点換算(小数点第2位以下切り捨て)の2つを表示する。

(審査基準)

第9条 審査員は、下記の内容を参考にして総合的に評価をする。

- (1) 礼法・服装
  - 礼法 立礼、坐礼、姿勢、目付、呼吸等
  - 服装 服装の乱れ、帯・紐の解け等
- (2) 技の内容
  - 基本動作 基本動作、姿勢、態度、組み方、進退動作、体捌き、受身等
  - 技の理合い 正確度(崩し・作り・掛け)、緩急、強弱、気迫、迫真性、順序
  - 受身等位置の取り方 位置、相手との間合い等
- (3) 全体的な流れ リズム、テンポ、調和等

2. 評価の判断基準

評価の判断基準は、次のとおりとし、0.5点刻みにて評価する。

- (1)非常に優れている 9点～10点
- (2)優れている 7点～8.5点
- (3)普通である 5点～6.5点
- (4)劣る 3点～4.5点
- (5)非常に劣る 0.5点～2.5点

3. 間違いがあった場合の評点について

- (1)次の場合は合計点を2分の1とする。
  - 1)やり直した場合、その技及び全体の流れの評価はそれぞれ4.5点を最高点とする。
  - 2)武器を落とした場合、その技及び全体の流れの評価はそれぞれ4.5点を最高点とする。

(2) 評価項目以外の技を演技した場合、その技は0点とする。

(失格)

第10条 第4条、第5条等に違反した場合。

2. 演技者(組)が演技の順序を間違えた場合、及び技を抜かした場合においては、演技を中断せず、その組の演技終了後に、審査員が合議し、適切に処理する。

(負傷/病気等の発生(安全への配慮))

第11条 演技者(組)において、演技中、怪我又は病気等が発生した場合、審査員は原則として直ちに演技を中止させ、記録は「棄権」とする。

2. 演技者(組)が演技中においてコンタクトレンズを落とした場合、審査員が演技を続けられないと認める場合には直ちに演技を中止させ、記録は「棄権」とする。

(抗議の禁止)

第12条 審査員による審査結果は絶対であり、異議の申し立ては認められない。

(その他)

第13条 本規定に定められていない事態が発生した場合、審査員は、大会委員長と合議の上、処理する。

(改廃)

第14条 本規定の改廃は、教育普及・MIND委員会形部会で検討し、理事会の承認を得て行うものとする。

附則

1. 本規定は、平成25年4月1日から施行する。
2. 本規定は、平成26年6月16日から一部改正して施行する。
3. 本規定は、平成27年4月1日から一部改正して施行する。
4. 本規定は、平成29年6月9日から一部改正して施行する。
5. 本規定は、令和2年8月18日から一部改正して施行する。

## I 演技の評価

- 1 間違いが演技の一部であり許容できる場合は、「劣る」あるいは「非常に劣る」(4.5~0.5)を与える。
- 2 演技として本来あるべき要件や性質が欠けている場合は、評価項目「技」、「全体の流れ」の両方に「劣る」あるいは「非常に劣る」(4.5~0.5)を与える。さらに集計担当者は合計点を半減する。
- 3 “本来あるべき要件や性質が欠けている”とは、攻撃部位や極める技が異なる、投げる方向が明らかに異なる、など理合いから大きく外れる場合を指す。
- 4 当身や武器が実際に相手に当たった場合は、「劣る」あるいは「非常に劣る」(4.5~0.5)を与える。過度と判断される場合は、2の場合に準じて総点を半減する。

## II やり直し

### 1 順序

#### (1) 定義

☞ 本来の順番でない技を行なうか、あるいは途中で間違いに気づき、本来の技を始める。

#### (2) 事例

##### ①投の形

「浮腰」の次に「払腰」を抜かし「釣込腰」を演技し、「払腰」からやり直すか、あるいは「浮腰」の次に「釣込腰」をし始めたが、途中で「払腰」に戻って演技した場合。

##### ②固の形

「裸絞」の次に「送襟絞」を抜かし「片羽絞」を演技し、「送襟絞」からやり直すか、あるいは「裸絞」の次に「片羽絞」をし始めたが、途中で「送襟絞」に戻って演技した場合。

##### ③極の形

「突掛」の次に「突上」を抜かし「摺上」を演技し、「突上」からやり直

すか、あるいは「突掛」の次に「摺上」をし始めたが、途中で「突上」に戻って演技した場合。

#### ④柔の形

「胸押」の次に「突上」を抜かし「打下」を演技し、「突上」からやり直すか、あるいは「胸押」の次に「打下」をし始めたが、途中で「突上」に戻って演技した場合。

#### ⑤講道館護身術

「両手取」の次に「左襟取」を抜かし「右襟取」を演技し、「左襟取」からやり直すか、あるいは「両手取」の次に「右襟取」をし始めたが、途中で「左襟取」に戻って演技した場合。

#### ⑥五の形

順番の間違いは想定できない。

#### ⑦古式の形

「水流」の次に「曳落」を抜かし「虚倒」を演技し、「曳落」からやり直すか、あるいは「水流」の次に「虚倒」をし始めたが、途中で「曳落」に戻って演技した場合。

### (3) 採点票の事例

1) 1つ抜かして、そのまま本来の順序で終わりまで演技した場合。

☞⑤番目の欄に⑤ではない技、⑥が行われたとき。⑤欄は「0」。⑥番目の欄に⑦の技が行われたら、⑥欄には、「0」。

☞審査員は単純に実施番号の評価欄に妥当な技が行われたかどうかを判断する。

技名称		評点	間違いの有無	演技内容	
腰 技	⑤	払 腰	0	抜かず	⑥
	⑥	釣込腰	0	別の技	⑦
足 技	⑦	送足払	0	別の技	⑧
	⑧	支釣込足	0	別の技	⑨

- 2) 1つ抜かしてから気づいて、抜かした技からやり直した場合。  
 ☞⑤番目の欄に⑤ではない技、たとえば⑥が行われたとき。⑤欄は「0」。  
 次の⑥番目の欄に⑤の技が行われたら、順序間違えとして⑥欄は「0」。  
 ⑦番目の欄に⑥の技が行われたら、⑦欄は「0」。

技名称			評点	間違いの有無	演技内容
腰 技	⑤	払 腰	0	抜かす	⑥
	⑥	釣込腰	0	別の技	⑤
足 技	⑦	送足払	0	別の技	⑥
	⑧	支釣込足	0	別の技	⑦

- 3) 2つ抜かして演技して気づき、抜かした技から順にやり直した場合。  
 ☞⑤番目の欄に⑤ではない技、たとえば⑦が行われたとき。⑤欄は「0」。  
 ⑥番目の欄に⑥ではない技、⑤が行われたので⑥欄は「0」。⑦番目の欄に⑥の技が行われたら、⑦欄は「0」。

技名称			評点	間違いの有無	演技内容
腰 技	⑤	払 腰	0	抜かす	⑦
	⑥	釣込腰	0	別の技	⑤
足 技	⑦	送足払	0	別の技	⑥
	⑧	支釣込足	0	別の技	⑦

注) 「間違いの有無」欄への記入は、メモ程度も可とする。この事例の“別の技”は便宜上使用している。

## 2 位置

### (1) 定義

☞ 各技本来の位置取りを行わず演技したり、一旦決めた位置を修正する。

### (2) 事例

#### ①投の形

次の技の位置でないとところに立ち止まり、その後移動して本来の位置に立った場合。

②固の形

取が近間から間違っで遠間に退いた場合。

③極の形

受が「横打」で約90センチメートルで相対し、間違いに気づき遠間に移動した場合。

④柔の形

「打下」で約1歩の間合いで相対し、間違いに気づき約2歩の間合いに移動した場合。

⑤講道館護身術

間違えて反対側に立ってから、気づいて本来の位置についた場合。

⑥五の形

3本目が終わって、取と受の位置が逆のまま、4本目を始めた場合。

⑦古式の形

間違えて反対側に立ってから、気づいて本来の位置についた場合。

### 3 動作

(1) 定義

☞ 各技本来の動作を行わず、途中で本来の動作を行う。

(2) 事例

①投の形

「払腰」の動作で受の腋に手を差し入れるところを行わず、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

②固の形

取が受の腕を持ち上げた後に、戻した場合。

受が右手で取の襟を取ろうとしたが、途中で間違いに気づき、左手で本来の動作を行った場合。

③極の形

当身等で攻撃の準備動作に入ったと認められる動作（実は他の技の動作）を、本来の技の攻撃準備動作に修正して施したと認められる場合。

④柔の形

「肩廻」で受が取の体を左へ回す動作をするところ両手を上方に挙げ、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

⑤講道館護身術

「顎突」で、取が受の手首を掴み損ね、再度本来の動作を行った場合。

⑥五の形

「一本目」で取が受を後方へ押し崩すため左足から進み出し、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

⑦古式の形

「水流」で受が左手で襟を掴みに行くところ右手で掴みに行き、途中で間違いに気づき本来の動作を行った場合。

# 【中学生】柔道形競技大会（録画審査方式） 動画撮影要領

## 1. 動画撮影について

### (1) 服装

- ①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。  
柔道衣は取受ともに白とする。男子のインナー着用は不可とし、女子のTシャツは白とする。
- ②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。
- ③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。

### (2) 撮影範囲・位置取り

- ①四間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。  
※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。演技中は、四間の間合い時(両者の距離約7.3m)に被写体が途切れることがないように撮影すること。  
※逆に四間を大幅に超える場合は、演技映像が小さくなってしまうので注意すること。
- ②カメラの位置は概ね立礼時の演技者の帯～頭（上半身）を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること（ズームなども行わない）。固定する際、演技者とカメラが水平であるかを確認すること。
- ③映像には演技者以外の人物や演技以外の音声が入らないようにすること。
- ④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。
- ⑤すべて正面側から撮影すること。  
※カメラの方向に向かって「礼」を行う。  
※取と受の位置を間違えないこと
- ⑥道場によって試合場や畳の大きさが異なる場合もあるため、そのような場合は場外での礼法位置を縮めても構わない。但し、場内での礼法位置は3間（もしくは中央から約275cm）を守ること。

図1 望ましい撮影範囲①（32畳）の場合



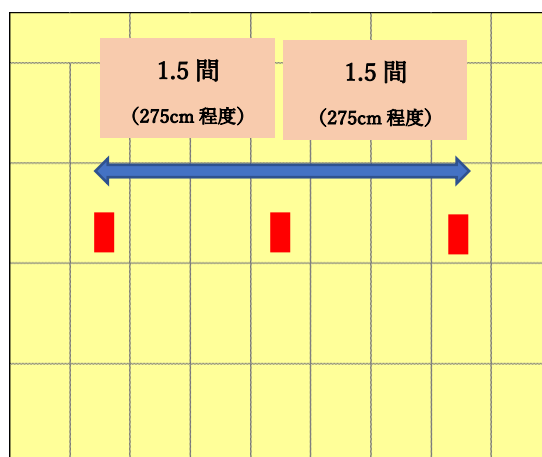
図2 望ましい撮影範囲②（50畳の場合）



### (3) ラインテープ

- ①取と受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約 10 cm、長さ約 50 cmとする。
- ②テープ色は畳の色と同色を避けていけば問わない。
- ③中央（前後左右の中心）にテープを貼る。
- ④中央から一間半（約 275cm）空けた位置にテープの外側を合わせる。
- ⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる（テープは踏まない）
- ⑥道場によって試合場や畳の大きさが異なる場合があるため、原則として、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

図3 ラインテープの位置（40.5畳の場合）



### (4) 動画

画質による審査への影響を排除するため、動画の規格を以下に定める。

- ①解像度は 1920×1080 以上であること。
- ②動画のフレームレート (fps) は概ね「30 もしくは 60」であること。
- ③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。
- ④動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での受取両方の立礼』」から「演技後の『場外での受取両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。
- ⑤解像度やフレームレートの確認方法は端末で異なるため、取扱説明書や web で確認すること。
- ⑥1 つのファイルのアップロード容量上限が 5GB を超えないこと。

#### 【動画の画質確認方法】

##### 【windows】

- ①動画ファイルを右クリックし、プロパティを開く
- ②「詳細」をクリックする
- ③「フレーム幅」「フレーム高」「フレーム率」を確認する

##### 【mac】

- ①動画ファイルを右クリックし、「情報を見る」を選択する
- ②「大きさ」を見ると解像度が確認できる

## 2. 補足

### (1) 所属団体での動画撮影と動画データの取り扱いについて

学校において教員による撮影が難しい場合は、各都道府県柔道連盟と連携し撮影を行うこと。

学校で撮影する場合には、器材の持ち込みや撮影活動について、事前に学校側に確認を行い、承認を得ること。

なお、必ずしも所属団体の道場で行う必要はない。

(2) 動画データの取り扱いについて

撮影した動画データは大会終了まで保管し、関係者（選手、保護者、当該選手の指導者、その他の許可された者）以外の者への拡散は認めない。

映像の管理責任は、各都道府県柔道連盟が負うこととする。

### **3. 撮影参考動画**

2025 年度全日本学生柔道形競技大会（第 4 回）※各種目優勝ペア演技

投の形：<https://youtu.be/7NIE6SA1mqc>

固の形：<https://youtu.be/3DWwgKMxf5A>

柔の形：<https://youtu.be/S4GyjWACkdQ>

※撮影の方向や角度、画質等について参考にしてください。